

感染状況・医療提供体制の分析（令和4年6月22日時点）

【令和4年6月23日 モニタリング会議】

| 区分 | モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出 | | 前回の数値 (6月15日公表時点) | 現在の数値 (6月22日公表時点) | 前回との比較 | これまでの最大値 | 項目ごとの分析 | |
|--------|-----------------------------|--|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|--|------------------------|
| 感染状況 | ①新規陽性者数※1 (うち65歳以上) | | 1,542.0人 (99.1人) | 1,697.7人 (120.9人) | ↑ | 18,012.3人 (2022/2/8) | 総括コメント | 感染状況は改善傾向にあるが、注意が必要である |
| | 潜在・市中感染 | ②#7119（東京消防庁救急相談センター）※2 における発熱等相談件数 | 54.6件 | 63.1件 | ↑ | 209.7件 (2021/8/16) | 新規陽性者数の7日間平均は、継続して減少していたが、今回は増加した。変異株を含め、今後の動向に注意する必要がある。基本的な感染防止対策を徹底することにより、新規陽性者数の増加を抑制する必要がある。 個別のコメントは別紙参照 | |
| | | ③新規陽性者における接触歴等不明者※1 | 数 | 945.4人 | 1,032.7人 | ↑ | | |
| | | | 増加比※3 | 86.7% | 109.2% | ↑ | | |
| 検査体制 | ④検査の陽性率（PCR・抗原） (検査人数) | 10.4% (9,504人) | 10.9% (9,844人) | → | 41.2% (2022/2/12) | 総括コメント | | 通常の医療との両立が可能な状況である |
| 医療提供体制 | 受入体制 | ⑤救急医療の東京ルール※4の適用件数 | 68.9件 | 71.7件 | → | 264.1件 (2022/2/19) | 入院患者数は、継続して減少してきたが、今回は横ばいとなった。引き続き感染状況やウイルスの特性に応じた医療提供体制を確保するための検討を進める必要がある。 個別のコメントは別紙参照 | |
| | | ⑥入院患者数 (病床数) | 575人 (4,831床) | 614人 (4,813床) | → | 4,351人 (2021/9/4) | | |
| | | ⑦重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者 (病床数) | 1人 (267床) | 0人 (267床) | → | 297人 (2021/8/28) | | |

※1 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。

※2 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※3 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※4 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

【参考】VRSデータによる
都民年代別ワクチン接種状況
(令和4年6月21日現在)

| 都内全人口 | | | 12歳以上 | | | 高齢者(65歳以上) | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-------|-----|-------|------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 1回目 | 80.4% | 2回目 | 79.7% | 3回目 | 59.3% | 1回目 | 87.5% | 2回目 | 87.0% | 3回目 | 65.4% | 1回目 | 93.1% | 2回目 | 92.9% | 3回目 | 88.0% |

都民の皆様へ

- ✓ 家庭では、帰宅後の**手指消毒を徹底し、こまめな換気を**
- ✓ 会食は、**認証店を選び大声での会話を控えて**
- ✓ **混雑した時間や場所はできるだけ避けて**
- ✓ 施設等や学校では、**熱中症に注意して**
場面に応じた、正しい**マスクの着用を**

マスクの着用に関する基本的な考え方

- マスクの着用は、**基本的な感染防止対策として重要**
- マスク着用を考える際の感染リスクを考慮にいった**3つのポイント**

「身体的距離」が
確保できているか

感染経路の一つである「飛沫」は、**1m～2m先まで届く**とされているため、感染者との距離は、目安として**2m以上確保することが重要**です。

「屋外」か「屋内」
か

屋外では、**空気の循環**により、屋内と比べると **感染リスクが低くなります**。

会話を行う/会話を
ほとんど行わない

会話や発声により感染が伝播することもあります。**会話がなければ感染リスクは低くなります**。

※令和4年5月23日変更新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針及び令和4年5月20日 厚生労働省事務連絡「マスクの着用の考え方及び就学前児の取扱いについて」を基に作成

➤ 具体的な着用場面など、その他詳細はこちら👉

